2018 年 7 月 22 日（日）オープンキャパス 開催報告

○タイムスケジュール

森林科学科	学科ガイダンス ①は指定席券が必要です。	① 9:30 ～ 10:20 ② 10:50 ～ 11:40 ③ 12:40 ～ 13:30	稲盛記念会館２階 ① 204 講義室 ② 205 講義室 ③ 204 講義室	学科紹介、在学生メッセージ（各学科ガイダンス後に、ビデオ放映、研究室ツアー・学科展示の紹介を 20 分程度行います。）
	模擬授業 糟谷信彦　助教	① 10:50 ～ 11:40	稲盛記念会館２階 204 講義室	「早生樹が変える日本の森林の未来」 近年、全国的に早生樹の植林に注目が集まっています。今年度の「森林・林業白書」に早生樹という用語が 16 回も登場しました。スギの伐採跡地に、代表的な早生樹のセンダンを植えればわずか 10 ～ 20 年で収穫が見込めるとされ、林野庁近畿中国森林管理局では重点取組事項として福井県、岡山県、兵庫県などに大学と共同で試験植林を開始しています。本講座では、特に有用材として注目を集めている早生樹のセンダンについて、関西地域を中心にとした植栽試験の取り組みや、中学校に植栽した環境教育の事例を紹介しつつ、今後の可能性についてお話ししたいと思います。
	模擬授業 長島啓子　准教授	② 12:10 ～ 13:00	稲盛記念会館２階 205 講義室	「どう使う！？森林分野でIT　～ICT と AI の利用～」 「森林科学」と聞いて、皆さんはどのような専門分野だと思われますか？森林分野は情報技術（IT）と無縁では？と思われる方もおられるかもしれません。しかし、森林分野でも IT、情報通信技術（ICT）の利用が研究されています。AI 時代の到来に向け、AI の導入についても研究されています。さて，どのようなところで、どうやって使われるのでしょう？今回の模擬授業では、日本の森林が抱える問題を概観した上で、その課題解決に（IT）がどのように利用されようとしているのか、最新の研究についてご紹介いたします。皆様が社会人として活躍される AI 時代、森林分野の研究や仕事にどのような変化の可能性があるのか、一緒に考えられたらと思っています。
	模擬授業 神代圭輔　助教	③ 14:00 ～ 14:50	稲盛記念会館２階 204 講義室	「木を使うことが環境貢献と言われる時代－森林科学が拓く新たな未来－」 森林を伐採して木材として利用することは悪いことだと思いますか？今は国の政策として木材を使うことが奨励され、木材を使うことが環境貢献と言われる時代です。なぜ木材を使うことが環境貢献につながるのか、樹木から生産される木材とはどんな材料なのか、木材を使うことと森林科学とはどう関係しているのか等について解説するとともに、木材利用に関する最新の研究も紹介しつつ森林科学が拓く未来について皆さんと一緒に考えます。
	学科アラカルト	10:30 ～ 15:00	３号館３階会議室	学科展示と入試相談
		① 11:50 ～ 12:40 ② 13:10 ～ 14:00	稲盛記念会館２階 ① 204 講義室集合 ② 205 講義室集合	研究室ツアー（３号館３階、６号館２階、学内テント等）
		9:30 ～ 15:00	学内テント	演習林等の紹介
		7 月 23 日（月）に演習林野外セミナーを大枝演習林において実施します。詳しくは森林科学科または附属演習林のホームページをご覧ください。		

模擬講義

ガイダンス1

ガイダンス2

学科展示 1

学科展示 2

演習林森なかまテント